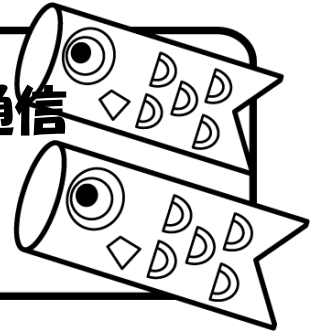


# 青木村子どもはつらつネットワーク通信

平成28年度 第128号 5月1日  
青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行



今月号では、今年度の保小中の重点目標を保育園長、小中学校長にお伺いしました。



## 青木村保育園の保育目標

園長 多田 治由

保育園では本年度、21名の新しいお友だちを迎え、98名でのスタートとなりました。新入園児のみなさんも少しずつ園の生活にも慣れ、元気に活動する声が聞こえてくるようになってきました。保護者の皆様にはお子さんを温かく見守っていただき、楽しい園生活が送れますようご協力をお願いいたします。



保育園では本年度も『明るく元気に遊べる子』を保育目標に活動を進めます。

その具体的な子ども像は次のとおりです。

1. 明るい子・・・素直で心温かな、他人を思いやれる子
2. 元気な子・・・少々のことにへこたれない、健康な身体と心の子
3. 遊べる子・・・ルールを理解し、色々な人と関われる子



その実現のためにいくつかの重点を定めていますが、「基本的な生活習慣を身につける」と「健康な体をつくる」を最優先の重点とします。

基本的な生活習慣については、日常生活の基本となる「食事」「睡眠」「排泄」「清潔」「衣服の着脱」「あいさつ」などの生活習慣の習得に向けて、子どもたちに寄り添いながら取り組んでいきます。



体づくりについては、従来から勧めています「外遊び」により全身を使って思い切り体を動かし、自然の中で色々な事を体験し、心も体も成長できるように努めたいと思います。また、「散歩」にも多く出て、地域の自然や歴史などに沢山触れることも大切にしたいと考えます。子どもたちを見かけましたら、気軽に声



を掛けていただけたらありがたいです。

幼児に限らず、人が健康的な生活を送るためには安定した生活のリズムが非常に大切だと言われていますが、生活様式の多様化と合わせてテレビやスマートフォンなどのメディアの発達によってそのリズムが崩れがちになっています。身近にそして手軽になった分、習慣化によって、メ



ディアが生活の中心になってしまう事が心配となります。「早寝・早起き・朝ごはん」に代表されるような良い生活のリズムが身に着けられるよう、保育園ではご家庭と情報を共有しながら一緒に取り組みたいと思いますので、子どもたちが安心して生活できるような環境作りにご理解とご協力をお願いいたします。

また、保護者の皆様を始め地域の皆様には保育園の行事をはじめ、色々な場面で保育園の活動にご支援をお願いすることもあります。ご協力いただきますようお願いいたします。



## 平成28年度 青木小学校 教育方針

校長 吉澤 修一

昨年度に引き続き、お世話になります。微力ながら精一杯努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

平成28年度の青木小学校は、35名の新入生と6名の新しい先生方を迎え、全校児童232名、職員30名でスタートしました。学校教育目標「あかるい子 かっこいい子 たくましい子」の具現をめざし、今年度の重点目標を次のように定めました。子どもたちと大切にしたいことを確認し、学校全体で取り組みます。



### 今年度の重点目標

#### 「あいさつ」 自分から進んで明るくあいさつしよう

キーワードは「自分から進んで」。友だちや先生、地域の方に自分からあいさつするよう心がけます。



#### 「学び合い」 自分で判断し、友だちとともに考えを深めよう

キーワードは「自分で判断、深める」。自分の頭で考えて判断し、友だちと話し合い、友だちのよさに学びながら考えを深めていきます。



## 「無言清掃」 よごれを見つけ、気づきの掃除をしよう

キーワードは「よごれを見つける」。おしゃべりをしていると、よごれを見落としてしまいます。一人になって、校舎と心を磨きます。



## 「体力づくり」 運動や遊びで体を動かし、 継続して体力づくりに取り組もう

キーワードは「継続」。運動も遊びも、毎日積み重ねていくことで体力が付き、たくましい子になっていきます。



これらのキーワード全てに共通していることは、「自分から取り組まなければ実現しない」ということです。人任せにしているうちは、本物とは言えません。ぜひ、ご家庭や地域でも子どもたちの様子を見守っていただき、よい姿やよくなってきた姿をほめていただくとともに、改善すべき点を子どもたちに教えていただけるとありがたいです。

職員が一丸となり、ご家庭や地域の皆様と手を携え、ともに子どもたちの教育に当たって参りたいと思います。ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



# ☀️ 平成28年度 青木中学校教育活動の重点

校長 清水 恒善

今年の入学式には中学校の桜が満開となりました。平成28年度が、29名の新1年生、4名の新しい先生方を迎え、全校生徒103名（6学級）でスタートしました。青木中学校には様々な特色ある教育活動があります。国際交流や伝統芸能、防災講座やアイリスセミナー、ゴテラ（午後の寺子屋）やウィークエンドスタディ・習熟度別学習やTT支援などの学力向上のための取り組み、PTA スポーツ大会や保小中一貫教育など、どれも“青木の子どもたちのため”に、村をあげて応援していただいております。村費の先生をあてていただいていることもそれらを可能にする大きな力となっております。



今年度は1年生と2年生が単級となり生徒会やPTA組織の統合等を含め学校行事や各教育活動等、本当に生徒たちに必要なことを見極めながら、時代の変化に対応できる柔軟な学校運営に努めてまいりたいと思います。以下、今年度の教育活動の重点と今年度新たに取り組みたいことを中心に述べさせていただきます。

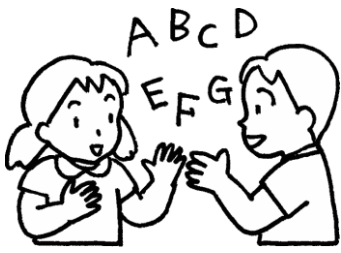
## 1、5つの実現したい姿

何年もかけて職員も生徒もこのことを目標として目指しています。どれもあたり前といわれればその通りですが、あたり前を続けると特別（青木ブランド）になる。そして学校への誇り（青木プライド）へとつながります。今年度も大事に取り組んでまいります。

### 5つの実現したい姿

- ① 学び合い
- ② 伝えよう、心の挨拶
- ③ 心を磨く清掃
- ④ 心に響く歌声
- ⑤ 心を耕す読書

## 2、今年度の重点



『授業づくり』では「学び合い」を今年度も継続して取り組んでいきます。成果が出てきていますのでさらに質をあげていきたいと思っています。『集団づくり』では生徒が笑顔で登校できる安全で安心な学校づくりに努めてまいります。何かご心配な点ありましたら何なりとご相談下さい。重点「伝えよう、心の挨拶」も引き続き取り組んでまいります。ご家庭でも一日のスタートが「おはよう」という温かい思いやりのある言葉で始まるよう、また地域でも生徒たちと挨拶で心が通わせられるようよろしくお願いします。

## 3、今年度、新たに組みたいこと

○メディアの使い方や家庭学習について昨年度の全国学力・学習状況調査の質問紙から青木中生の傾向と課題が見えてきました。質問紙の殆どの項目（将来の夢や目標、読書や基本的な生活習慣、授業への取り組み等）で大変よい評価でしたが、テレビやビデオ、ゲームなどの時間が多めで家庭学習がもう一歩という結果でした。昨年、あおきっ子教育ポイント5か条が改まったのを機に、小学校やご家庭と連携しながら定期テスト前にノーメディアウィーク等の取り組みをしていきたいと予定しています。



○キャリア教育に関わって、様々な職種の方をお招きし職業講話を実施したいと考えます。職業を通して人や社会の役に立つ喜びや生きがい、その方の生き方に学びたいと思います。

本年度も、中学校職員一同、精一杯頑張ります。保護者、地域の方々、教育委員会、村当局のご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。



今月号と一緒に「平成28年度青木村の教育」「新あおきっ子教育ポイント5か条」を配布いたしましたので合わせてご覧ください。